



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場取引所 東・名

上場会社名 名糖産業株式会社  
コード番号 2207 URL <https://www.meito-sangyo.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三矢 益夫  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 栗本 正直 (TEL) 052-521-7111  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,031	12.2	322	—	1,001	82.9	958	157.8
2024年3月期第1四半期	5,375	7.7	△175	—	547	△14.8	371	0.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,167百万円(16.9%) 2024年3月期第1四半期 2,710百万円(383.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	56.66	—
2024年3月期第1四半期	21.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	82,960	53,982	65.1
2024年3月期	81,726	51,068	62.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 53,982百万円 2024年3月期 51,068百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	17.00	—	16.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2025年3月期(予想)期末配当金の内訳 創立80周年記念配当 2円00銭

### 3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	14.8	800	244.7	2,000	39.8	4,000	—	236.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	17,277,683株	2024年3月期	17,277,683株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	361,112株	2024年3月期	360,874株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	16,916,638株	2024年3月期1Q	16,904,769株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、景気に緩やかな回復がみられました。一方で、欧米の高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、原材料価格の高騰やエネルギーコストの高止まり、人件費や物流費の上昇などに起因する各種商品の値上げが進み、個人消費の持ち直しに足踏みがみられるなど、企業にとって厳しい経営環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、企業価値の向上を目指し、「Challenge for the future 未来を創造する挑戦」をスローガンとした、新中期経営計画「MEITO CHALLENGE 2026」をスタートさせました。商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、おいしさ・たのしさ・健康を追求した高付加価値商品の提供、テレビCMなどの販売促進策を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて12.2%増の6,031百万円となりました。営業損益につきましては、売上高の増加や商品の内容量変更・価格改定による売上原価率の改善などにより、322百万円の営業利益となりました。なお、前年同期は175百万円の営業損失でありました。また、経常利益は、営業利益の改善に加えて受取配当金が増加したことなどにより、前年同期と比べて82.9%増の1,001百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別利益に固定資産売却益343百万円を計上しました結果、前年同期と比べて157.8%増の958百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### 食品事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、各種商品の値上げが続き、個人消費の回復の遅れがみられるなか、主力の菓子部門は、継続した販売諸施策の取り組みや2024年2月に連結子会社化した株式会社おいもやの主要製品である芋菓子の売上が加わることなどにより、増収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」などのファミリーサイズ（大袋）の商品が売上を落としたことに加え、受託商品の売上も減少し減収となりましたが、キャンディ類は、自社商品・受託商品ともに売上を伸ばし増収となりました。そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、バウムクーヘン類が売上を落としましたが、ゼリー類の売上が大きく伸長したことなどにより増収となりました。

粉末飲料部門につきましては、「香り高いミルクココア」などの売上が増えたことにより増収となりました。

また、冷蔵部門は、自社商品の売上が伸長し受託商品の売上も増えたことから、増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ7.2%増の5,050百万円となりました。営業損益につきましては、過年度より数回にわたって実施した商品の内容量変更・価格改定の効果等により238百万円の営業利益となりました。なお、前年同期は23百万円の営業損失でありました。

#### 化成品事業

酵素部門につきましては、海外を主な市場としており、円安の恩恵を受けるなか、売上拡大を目指して積極的な営業活動を推進しました。その結果、チーズ用凝乳酵素「レンネット」および脂肪分解酵素「リパーゼ」はともに、海外市場にて売上が拡大し増収となりました。

また、薬品部門につきましては、乳癌転移検出用医療機器で使用される「デキストランマグネタイト」の売上が大きく伸びて増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ53.7%増の914百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の拡大や一部商品の価格改定の実施などにより前年同期に比べ751.1%増の316百万円となりました。

#### 不動産事業

不動産事業につきましては、賃貸駐車場を売却したことなどにより、売上高は前年同期に比べ3.0%減の66百万円となり、営業利益は前年同期に比べ3.9%減の23百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,233百万円増加し、82,960百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、投資有価証券が株価の上昇により増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、1,679百万円減少し、28,977百万円となりました。これは主に、短期借入金が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,913百万円増加し、53,982百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、65.1%（前連結会計年度末62.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、2024年7月16日の「公開買付けへの応募結果および特別利益の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました数値から変更はありません。今後、経営環境等の変化により、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,362	4,949
受取手形及び売掛金	6,119	5,272
有価証券	250	150
商品及び製品	1,756	2,153
仕掛品	674	729
原材料及び貯蔵品	1,507	1,611
その他	331	234
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	16,998	15,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,590	9,518
機械装置及び運搬具（純額）	5,103	5,025
その他（純額）	4,149	4,205
有形固定資産合計	18,843	18,749
無形固定資産		
のれん	1,515	1,481
その他	112	125
無形固定資産合計	1,628	1,607
投資その他の資産		
投資有価証券	43,793	47,049
その他	492	484
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	44,256	47,504
固定資産合計	64,727	67,861
資産合計	81,726	82,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,067	3,233
短期借入金	3,070	900
1年内返済予定の長期借入金	765	765
未払法人税等	232	149
その他	3,863	3,265
流動負債合計	10,998	8,313
固定負債		
長期借入金	9,079	8,888
繰延税金負債	7,536	8,686
役員退職慰労引当金	45	46
固定資産撤去費用引当金	100	100
退職給付に係る負債	2,668	2,715
その他	228	227
固定負債合計	19,658	20,664
負債合計	30,657	28,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,323	1,323
資本剰余金	86	86
利益剰余金	27,788	28,492
自己株式	△688	△688
株主資本合計	28,509	29,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,484	24,712
退職給付に係る調整累計額	74	56
その他の包括利益累計額合計	22,559	24,768
純資産合計	51,068	53,982
負債純資産合計	81,726	82,960

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	5,375	6,031
売上原価	4,315	4,247
売上総利益	1,059	1,784
販売費及び一般管理費		
販売促進費	5	35
運送費及び保管費	421	427
給料手当及び賞与	398	469
退職給付費用	10	10
役員退職慰労引当金繰入額	1	0
貸倒引当金繰入額	9	△0
減価償却費	19	36
その他	368	482
販売費及び一般管理費合計	1,235	1,461
営業利益又は営業損失(△)	△175	322
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	484	558
投資有価証券売却益	121	1
持分法による投資利益	12	14
企業立地奨励金	95	85
その他	36	44
営業外収益合計	750	705
営業外費用		
支払利息	8	13
固定資産除売却損	14	11
その他	4	0
営業外費用合計	27	26
経常利益	547	1,001
特別利益		
固定資産売却益	-	343
特別利益合計	-	343
税金等調整前四半期純利益	547	1,345
法人税、住民税及び事業税	69	212
法人税等調整額	106	173
法人税等合計	175	386
四半期純利益	371	958
親会社株主に帰属する四半期純利益	371	958



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	371	958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,357	2,227
退職給付に係る調整額	△18	△18
その他の包括利益合計	2,338	2,209
四半期包括利益	2,710	3,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,710	3,167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,711	595	68	5,375	—	5,375
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,711	595	68	5,375	—	5,375
セグメント利益又は損失(△)	△23	37	24	38	△213	△175

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,050	914	66	6,031	—	6,031
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,050	914	66	6,031	—	6,031
セグメント利益	238	316	23	578	△256	322

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	397百万円	426百万円
のれんの償却額	—	34百万円